

「小児歯科におけるリコールの実態とこれからの 問題点 —アンケート調査を中心として—」

小児歯科柏木医院

札 本 眞 規 子

小児歯科における定期診査は、成長過程にある小児の口腔の予防管理を行い、健全な歯列や周囲組織の成長を計る上で、非常に重要である。定期診査の内容としては、診査・予防処置・ブラッシング指導・生活改善指導などが考えられるが、各医院によってシステムはかなりばらつきがあると思われる。我々パラデンタルスタッフは、自分の勤務する医院の定期診査システム以外は知らないことが多く、また情報交換する機会もほとんどないのが実情である。

そこで今回、九州小児歯科集談会会員の所属する歯科医院を対象に、定期診査の実態および問題点等に関してアンケート調査を行った。アンケート内容は、医院の開業形態・開業地区・スタッフ構成・定期診査導入の有無および内容・定期診査の間隔およびそれに要する時間・医院の工夫点等である。また、定期診査を実施する上での悩みや問題点についても調査した。

以上のアンケート結果に加え、実例として演者が日頃行っている定期診査について、合わせて報告する。う蝕罹患の危険性が高い場合や歯肉炎の兆候が見られる場合などは、歯科衛生士が担当制により定期管理を行っている。このような場合には特に、患者に応じた予防処置とステップアップ方式の指導が必要なためである。そして、患者自身のセルフケアの確立ができれば、定期診査の目標が達成できると考えている。

これらの発表を基に、それぞれの医院での定期診査の悩みや問題点などを話し合うことができ、そして少しでも定期診査内容の改善につながれば幸いである。